

平成31年度（令和元年度）全国学力・学習状況調査 教科に関する調査結果及び考察について

保護者の皆様へ

白河市立関辺小学校長

平成31年4月18日に実施しました「全国学力・学習状況調査」の教科に関する調査結果及び考察についてお知らせいたします。

この調査は、学校における児童への教育指導や学習状況の改善等に役立てることなどを目的としています。

調査対象は6年生で、国語と算数の2教科を実施しました。

昨年度までは、「国語A」、「算数A」（主に知識に関する問題）と「国語B」、「算数B」（主に活用に関する問題）に分けて実施してきましたが、今年度より、それらが1つにまとまった調査を実施しました。

本校では、教科に関する調査結果とその考察、並びに指導方法を改善する取組をお知らせし、学校と保護者や地域の方々がともに手を携えて、児童の学力向上や学習環境などの改善に取り組んで参りたいと考えておりますので、御理解と御協力をお願いします。

なお、本調査により測定できるのは、学力の一部であること、また、学校における教育活動の一側面の結果であることを御理解ください。

【本校と全国の平均正答率比較】

教科	全国平均 正答率	下回っている	やや下回っている	ほぼ同じ	やや上回っている	上回っている
国語	63.8%	○				
算数	66.6%		○			

【国語：本校と全国の領域別平均正答率比較】

領域	全国平均正答率	下回っている	やや下回っている	ほぼ同じ	やや上回っている	上回っている
話すこと・聞くこと	72.3%	○				
書くこと	54.5%	○				
読むこと	81.7%	○				
伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	53.5%	○				

【考察】

- 目的に応じて、文章の内容を的確に押さえ、自分の考えを明確にしながら読んだり書いたりする問題が全国と比べ良くできていました。授業の中で、根拠を明確にして自分の考えを書くよう指導してきた成果と考えます。今後は、複数の情報を関連付けて考えさせる学習も取り入れ、さらに読む力をつけていきます。
- 漢字を文の中で正しく使う問題が全国と比べ低い結果となりました。同音異義語などを正しく使えるよう、授業の中に漢字の取り立て指導や文作りなどを意識して取り入れたり、漢字の練習を繰り返し根気よく行ったりすることで、漢字を正しく使う力をつけていきます。

【算数：本校と全国の領域別平均正答率比較】

領域	全国平均正答率	下回っている	やや下回っている	ほぼ同じ	やや上回っている	上回っている
数と計算	63.2%					○
量と測定	52.9%	○				
図形	76.7%	○				
数量関係	68.3%		○			

【考察】

- わり算の計算をかける数や割る数を工夫して計算しやすい形にする問題が全国に比べ良くできていました。問題場面を理解し、適切に処理する力が身につけてきていると考えます。さらに、日常生活の中にある問題場面を見いだす楽しさや、言葉や式で表すことの良さを実感できるよう指導していきます。
- 単位量当たりの大きさを基に、所要時間を求める求め方や答えを言葉や数を用いて記述する問題が、全国に比べ下回りました。今後は、授業において、複数の情報から必要な数量を見つけて立式したり、式と言葉とを関連付けて説明したりできるよう指導していきます。

**平成31年度（令和元年度）全国学力・学習状況調査
質問紙調査結果及び考察について**

保護者の皆様へ

白河市立関辺小学校長

「全国学力・学習状況調査」では、学習や生活の状況について質問紙による調査も実施しましたので、その結果及び考察の一部をお知らせいたします。

特に、児童の家庭学習の取組や読書の様子など家庭生活に関する調査結果を公表し、学校と家庭・地域の協力体制を強化していくことを目的としています。

この結果を、是非、御家庭でも子どもさんと一緒に話し合っ、て、家庭生活の見直しに役立ててくださるようお願いいたします。

1 家で自分で計画を立てて勉強をしていますか。

		している	どちらかといえ ばしている	あまりして いない	全くして いない
小	全 国	33.1	38.4	23.0	5.5
6	関辺小	42.1	26.3	26.3	5.3

(単位 %)

【考 察】

- 「全くしていない」の割合が、昨年度と比べ減少しています。これは、家庭学習連絡ファイルを通して、家庭との連携を図ってきた成果だと考えます。
- 今後も「家庭学習の手引き」を利用したり、自主学習の取り組み等を紹介したりしながら、目標をもって家庭学習を進められるように指導していきます。

2 授業時間以外に、普段（月～金）、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか。

		3時間以上	2時間以上 3時間未満	1時間以上 2時間未満	30分以上 1時間未満	30分未満	全くしない
小	全 国	12.4	16.9	36.8	24.1	7.6	2.3
6	関辺小	15.8	21.1	31.6	15.8	15.8	0.0

(単位 %)

【考 察】

- 「3時間以上」「2時間以上3時間未満」の割合が昨年度より増えています。また、約7割の児童が高学年の家庭学習時間の目安である60分を越えて家庭学習に取り組んでいることから、家庭学習の習慣が身につけてきていることが分かります。
- 30分未満の児童に対しては、個別に声をかけ、自主学習の内容を提示するなど何に取り組めばいいのか、どのように取り組めばいいのかを明確にし、家庭学習の充実が図れるように指導していきます。

3 授業時間以外に、普段（月～金）、1日当たりどれくらいの時間、読書をしますか。

		2時間以上	1時間以上 2時間未満	30分以上 1時間未満	10分以上 30分未満	10分未満	全くしない
小	全国	7.0	11.3	21.5	25.9	15.6	18.7
6	関辺小	5.3	5.3	21.1	36.8	5.3	26.3

(単位 %)

【考 察】

- 読書時間が昨年度に比べ減少しています。「全くしない」児童も3割近くおりますので、読書時間の確保に努めてまいります。
- 本校では、昨年度より保護者や教師、学校司書による読み聞かせを実施してきました。今後は、学習に関連する図書の紹介やおすすめの本を紹介するブックトークなどを取り入れ、読書への関心を高められるような環境作りを進めていきます。

4 学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていると思いますか。

		当てはまる	どちらかといえ ば当てはまる	どちらかといえ ば当てはまらない	当てはまらない
小	全国	30.3	43.8	20.5	5.4
6	関辺小	26.3	63.2	10.5	0.0

(単位 %)

【考 察】

- 「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」と答えている児童が、約9割います。このことから、多くの児童が、学級の友達と話し合うことで、自分の考えを深めたり、広げたりすることができると感じていることが分かります。これは、授業で学び合いを重視した学習に取り組んできた成果だと考えます。
- 今後も学び合いにより自分の考えを深めたり、広げたりする学習を大切にしていきます。また、授業に繰り返し学習も取り入れ、さらに基礎的・基本的な学習内容が身につくよう指導していきます。